

記入例

農業振興地域農用地区域用途区分変更申出書

令和 〇〇年 〇〇月 〇〇日

川南町長 殿

申出人 住所 川南町大字川南〇〇〇番地〇
(事業計画者) フリガナ かわみなみ たろう
氏名 川南 太郎 印
電話 0983-27-〇〇〇〇

土地所有者 住所 川南町大字川南〇〇〇番地〇
(※申出人と異なる場合) フリガナ かわみなみ はなこ
氏名 川南 花子 印
電話 090-〇〇〇〇-〇〇〇〇

申出者と土地所有者が異なる場合、土地所有者欄にも署名・押印のこと。申出者と同一の場合は不要。

1 用途区分変更を申し出る土地の表示

土地の所在			地目		面積	用途区分変更面積	変更後の用途区分
大字	字	地番	台帳	現況	(㎡)	(㎡)	
川南	△△△	〇〇〇番地〇	畑	畑	1500	800	農業用施設用地
		左の面積のうち、用途区分変更が必要な面積を記入する。			田・畑・樹園地・採草放牧地・混木林地・農業用施設用地のうち希望する用途区分を記入すること。		

2 申出の理由

経営規模拡大による機械の導入に伴い、現在の農業用倉庫ではスペースが不足するため、新たな倉庫と作業場を建設する。

3 当該地を選定した理由

既存の農業用倉庫及び自宅に隣接する土地であり、当該地を含めた周辺農地は自らが耕作する土地である。農業経営を行う上で最も効率的であることから、当該地を選定した。

申出地以外の土地についても検討したが、結果として申出地以外に代替することができない理由を具体的に記入すること。

4 事業計画の内容(施設の種類・規模等)

施設の種類: 農業用倉庫兼作業場

敷地面積: 800㎡(農業用倉庫400㎡、作業場80㎡)

配置: 別添のとおり

5 事業計画スケジュール

令和〇〇年〇〇月農地法5条申請予定

令和〇〇年〇〇月着工予定

令和〇〇年〇〇月完成予定

土地改良区の担当者の押印

用途区分変更申出及び転用の許可を受けるまでの期間を考慮し、おおよそのスケジュールを記入すること。

6 土地改良区との協議の状況

土地改良区名	受益地地番	受益地からの除外見込みの有無	受付者印	備考
川南原土地改良区	川南字△△△〇〇〇番地〇	有・無	担当者印	理事会での承認を確約するものではない。
尾鈴土地改良区	なし	有・無		「受益地外であることの証明」を添付する。

- (注) 1 「受益地からの除外見込みの有無」「受付者印」「備考」欄は土地改良区に記入依頼すること。
 2 受益地地番がない場合には「受益地外であることの証明」を添付すること。「除外見込みの有無」欄は記入不要。
 3 受益地からの除外見込みが「有」の場合でも、理事会等において承認が得られなかった場合には用途区分変更はできない。

7 その他

(1) 付近の土地・作物・家畜等の被害防除施設の概要

土砂流出、排水対策を施す。

(2) 土地基盤整備事業の状況

県営畑地帯総合整備事業 尾鈴北第〇地区(□□〇〇年〇月完了)

(3) その他参考となる事項

児湯農林振興局と協議済み

8 添付書類

- (1) 申出地の位置図
- (2) 事業計画の配置図
- (3) 14条地図(写し可)
- (4) 土地登記簿謄本(写し可)
- (5) その他必要な書類